

採用の流れ

採用窓口：職業安定局総務課人事給与係 03-5253-1111（内線5714）

採用実績

入省年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
人数	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
	2人	2人	2人	3人	2人	3人	3人	2人	1人	3人	2人	1人

（注：令和6年度は内定者数）

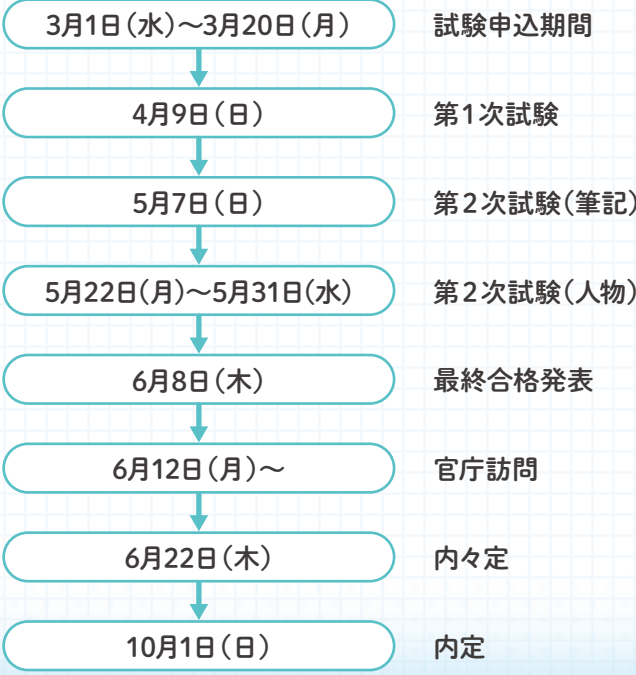
採用スケジュール

令和7年度採用予定者を対象とした、業務説明会や採用手続きのスケジュールは、人事院の「[国家公務員試験採用情報NAVI](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html)」(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)や、厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html)に掲載されますのでご覧ください。

試験申込日以前の人事院主催の業務説明会等の予定は以下のとおりです。

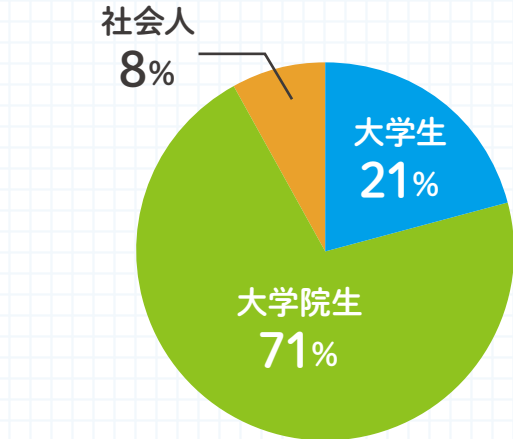
- 【合同業務説明会】 令和6年2月～3月上旬に各地で開催。
- 【申込直前WEBセミナー】 令和6年1月21日（日）配信。

前回（令和6年度入省者対象）の実績は以下のとおり。
※令和7年度採用予定者を対象とした採用スケジュールは、前回と異なる場合があります。

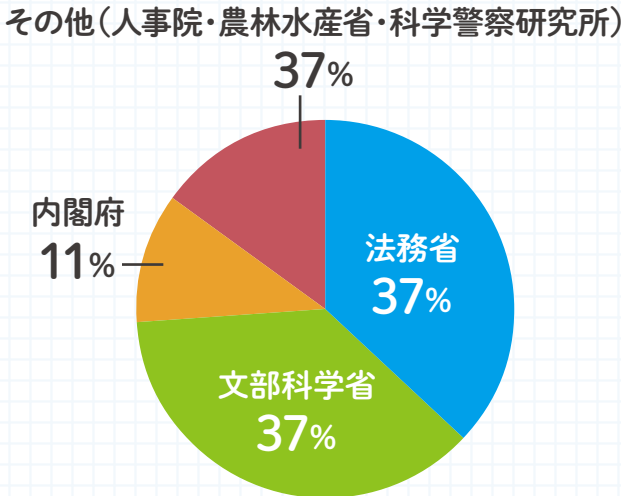


若手アンケート

Q1.入省前は何をしていましたか？



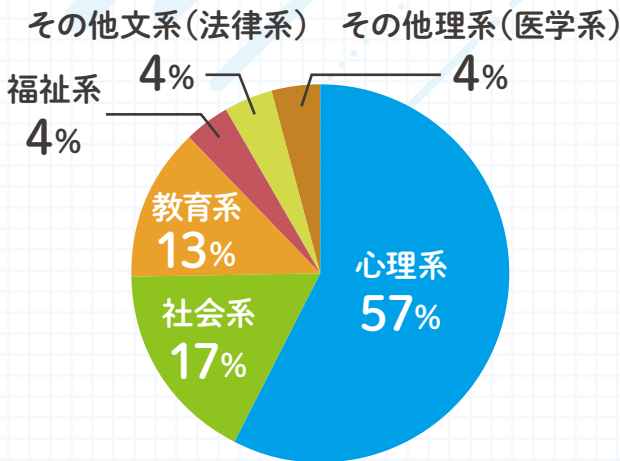
Q3: 官庁訪問で訪問した省庁はどこですか？（複数選択可）



Q5: 仕事をしていてどんなときにやりがいを感じますか？

- 社会貢献の実感
- 研修で立った窓口で、利用者の方からありがとうございましたと言ってもらえたとき、小さなことでも本省や現場でやっていることひとつひとつが国民の生活に繋がっているのだと感じました。
 - 担当業務に関わる内容が報道されるときなどは、自身の業務が社会的に関心が高いことを実感し、仕事のモチベーションとなります。
 - 自分の関わっている施策を利用している方に出会った時。
- 達成感
- 委託事業、政策文書など、取り組んできたものが形となって公表されたときにやりがいを感じます。
- 企画・立案等
- 雇用・労働分野における、世間での関心も高い様々な課題に対して第一線で関わることができること。

Q2.大学（大学院）の専攻は何ですか？



※四捨五入の関係で、各項目の割合の和が100%とならない場合があります。

Q4: 入省前とのギャップはありますか？

- ワークライフバランス
- 休暇は取りづらいたろうと予想していましたが、月1回有休を取得する「マンスリー休暇」や大型連休と有休を繋げて長期休暇にすることが広く浸透していて、非常に休みやすかったです。
 - テレワークの実施、出勤時間変更やマンスリー休暇など働き方改革に積極的に取り組んでいること。
 - 育休を取得する男性職員が多いことは当たり前ではあるものの意外でした。
- 周囲のサポート
- バリバリ仕事をこなす効率絶対主義な職場かと思いきや、定期的に先輩職員と面談を行うメンター制度において業務に関する相談にとどまらず、プライベート面での相談にも乗っていただけるアットホームな職場でした。
- 仕事の幅広さ
- 入省1年目から、政策の企画立案など、大きな仕事に関わることができる場所。



<http://www.mhlw.go.jp/> 🔍

